

第4世代原子力システムに関する国際フォーラム(GIF)政策グループ会合の概要

名称: 第4世代原子力システムに関する国際フォーラム(GIF) 政策グループ(PG)会合

主催: 第4世代原子力システムに関する国際フォーラム
(GIF: Generation-IV International Forum)

参加メンバー:

アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、日本、韓国、ロシア、南アフリカ、スイス、英国、米国及びユーラトム(13カ国1機関)

通常参加者: 70名程度

○PG関係者

30名程度(各国原子力政策担当者:日文科省参与、仏原子力庁局長、米エネルギー省副次官補代理、他)

○専門家グループ(EG)関係者 20名程度(各国原子力技術専門家)

○オブザーバー 20名程度

運営体制:

- PG が GIF 全体の枠組み、財政を含む GIF 政策(運営)にかかる決定責任を負う。米仏日韓の4ヶ国が議長・副議長国となり、主導的役割を果たしている。年に2回、政策グループ会合を開催している。
- EG は、政策グループへの助言・諮問機関として提案を行う。
- 原子炉システム毎に置かれるシステム運営委員会が、各システムの研究開発計画の立案・監視を行う。
- プロジェクト毎に置かれるプロジェクト管理委員会が、各プロジェクトの研究開発計画の立案等を行う。
- 経済性モデル、核拡散抵抗性・核物質防護、リスク・安全性についての評価手法検討ワーキンググループが、横断的な評価手法の整備を進める。
- 政策事務局が政策グループ及び専門家グループの事務局を、技術事務局が各委員会の事務を務める。
- 上級産業界諮問パネル(SIAP)は産業界メンバーによる実用を想定した検討を行い、PGに勧告する。

GIF 全体の概要については、添付資料2(GIF の概要)を参照のこと。